

The PROFESSIONAL WEDDING

[ウエディングプランナー サポートマガジン]

No.77

SUMMER (JUN-AUG) 2023

5 **From the Publisher** 「元には戻らない、戻さない」 石渡 雅浩

6 **連載「ウエディングプランナーが花嫁になる日」**
(株)テイクアンドギヴ・ニーズ 山元 美帆さん/辻 英悟さん

10 **連載「オモイがカタチに変わるトキ」**
キンプトン新宿東京 小久保 香織さん

14 **連載「good things make the day brighter」**
ギフトコンシェルジュ 真野 知子

15 **特集「ファミリー婚に求められる接客」**

16 **総論「夫婦の絆を結ぶところから始めよう」**

18 広尾レディース 宗田 聡氏
(株)テイクアンドギヴ・ニーズ 有賀 明美氏

22 ERISAEKIWedding 佐伯 エリ氏

24 あてま高原リゾート ベルナティオ
五十嵐 直樹氏・庭野 真由美氏

26 (株)ウエディングパーク 森本 啓太氏

28 コンビ(株) 亀井 百恵氏

30 **連載「エシカルウエディングのすすめ」**
THINKS 石井 なお子さん
(株)プライマル 代表取締役 福島 剛さん

32 **連載「誰かの運命の一着が生まれるまで」**
(株)UNO Design 代表 宇野 雄一

34 **TOP INTERVIEW**
(株)目黒雅叙園 ホテル雅叙園東京 総支配人 森木 岳明氏

38 **女性管理職対談**
「～ウエディング業界で活躍する女性管理職を増やすためには？」
(株)エスクリ 種村 陽子氏 × (株)グッドラック・コーポレーション
長浜 早紀氏

42 **注目企業インタビュー**
(株)リクルート『ゼクシィ』 館 康人氏・衣笠 歩氏

— SKILL UP —

44 **連載「未来をつくるウエディングプランナー～人生を変えた結婚式」**
(株)スタイルズ 弓納持 里奈さん

46 **連載 有賀明美の「失敗から学ぶ、ワンランクアップの自分へ」**
VOL.8:「頼ることを怖がらない。悩みのシェアでチーム力を高める」
(株)テイクアンドギヴ・ニーズ ウエディングアドバイザー 有賀 明美

48 **連載「信頼を得るコミュニケーションメソッド」**
レッスン5:プレゼンテーションの要は課題の発見にある
(株)エスプレシーボ・コム 代表取締役 安東 徳子

50 **連載 荒井さやかの「20代の今のあなたに伝えたい
新規接客はもっと楽しくなる！」**
第5回:ビジュアル情報の感想を引き出し続けて第一希望に選ばれよう
Coco style WEDDING フリーウエディングプランナー 荒井 さやか

52 **連載 佐伯エリの「言葉にできない想いを引き出すヒアリング」**
第5回:おふたりの関係性が見える質問
ERISAEKIWedding ウエディングプランナー 佐伯 エリ

54 **連載「ウエディングと音楽のチカラ」**
Vol.26: マイクを味方につけよう
フリーランス・ウエディングプランナー 岡村 奈奈

56 **連載「支配人とプランナーのためのWEB集客講座part2」**
第17回:今こそ強化すべき自社集客【前編】
SoZo(株) チーフコンサルタント 武田 昌幸

— CAREER —

58 **連載「THE PROFESSIONAL～ドラマは現場で起こっている」**
ドレススタイリスト 鈴木 ゆう子氏

60 **連載「両立 WOMAN」**
第76回:湯沢ロイヤルホテル ウエディングプランナー 渡部 かなさん

63 **連載「ココロとカラダの保健室×美人化計画 For Wedding WOMAN」**
医師・医学博士 川島 恵子先生

64 **連載「輝け!フレッシュパーソン～under25奮闘記」**
(株)キュー 小川 真穂さん

— REPORT —

66 **連載「WORLDWIDE WEDDING」**
第73回:アメリカ合衆国

68 **データ「データから見るブライダルビジネス」**
第70回:少子化時代に求められる価値観

72 **TOPICS**

78 **INDEX OF PERSONS**

81 **新設・リニューアル情報** MAISON8

82 **連載「うちのイチ押し料理」** (株)ノバレーゼ 三瀧 荘
ウエディングプランナー 森本 夏氏/料理長 菊地 典明氏

84 **新設・リニューアル情報** ザ・リバーサイドテラス広島ソリズスクエア

表紙の花嫁: (株)テイクアンドギヴ・ニーズ 山元 美帆さん/辻 英悟さん/撮影:山隈 祐介

good things

*Make the day
brighter*

41 花嫁に贈るビューティーギフト

特別な日をより輝かせてくれるモノやコト good things。今回は結婚式やパーティーを目前に、自分磨きにも余念のない花嫁に贈るビューティーギフトを紹介します。家族や友人など親しい間柄の立場からエールを贈るギフトとしてのお薦めは、花嫁をケアし、気分を高めてくれるもの。「アスレティア」のフェイスシートはラベンダーやミントをベースとしたハーブガーデンのような爽やかさで、澄んだ揺らがない気持ちを表現した清々しさが魅力。「デ・マミエール」のバスソークは

大人気アルティテュードオイルと同じエッセンシャルオイルが配合されていて、保湿はもちろん前向きな気持ちにさせてくれる。英国王室御用達「モルトンブラウン」のボディケアセットはフローラル&フルーティさが調和した優美でフェミニンな香り。「ペンハリガン」のオードパルファムは、英国王室にまつわるバラの紋章「テューダー・ローズ」に着想を得た伝統的かつモダンなフレグランス。気品あふれるローズの香りに包まれて式当日やハネムーンのお供にも。



コアバランストーニングマスクセット／アスレティア
<https://onlineshop.athletia-beauty.com/ja>



ジャスミン&サンローズ ボディケア ギフトセット／モルトンブラウン
<https://www.moltonbrown.co.jp>



エリザベサン ローズ オードパルファム／ペンハリガン (ブルーベル・ジャパン)
<https://latelierdesparfums.jp/pages/penhaligons>



バスソーク 専用スプーン付き／デ・マミエール
<https://www.demamieel.jp>

真野 知子
Tomoko MANO

独自の審美眼によるギフトセレクションが注目され、手土産など日常的なギフトから、お中元、お歳暮などのシズナルギフトや引き出物まで多彩な贈りものシーンのTPOに合わせたアイテムを選定。女性誌での連載や審査員、ギフトブランド“ROOM SERVICE”の商品プロデュースなど多方面で活躍中。著書に『ギフトコンシェルジュ真野知子の大切な日のためのギフト・マニュアル』（マーブルブックス）がある。「マツコの知らない世界 #72 記憶に残る！人と差がつく！手土産の世界！」に出演など、TVやラジオといったメディア出演でも活躍の場を広げる。Instagram : tomoco_mano / Twitter : @mano_tomoko / URL = <http://gift-code.jugem.jp>

夫婦の絆を結ぶところから始めよう

コロナ禍で結婚式を延期したカップルが、子どもの誕生後に会場へ戻ってきて、ファミリー婚を希望するケースが増えています。これからますます増えると思われるファミリー婚について、現在の課題や今後の展望、求められることについて掘り下げました。また、幼い子どもが列席する上での注意点についても、有識者にお聞きしています。

増加するファミリー婚 やがては一般的なものに？

結婚式の延期期間に新郎新婦の間に生まれた子を交えての、ファミリー婚が増えています。「子がかすがい」ということわざの通り、子どもの存在によって家族の絆が強く感じられる結婚式です。しかし、すでに新たな家族が産まれているだけに、おふたりがこれから家族となるスタート地点としての色合いが薄れる面もあります。

とはいえ、夫婦のスタートを後押しすることはウエディングプランナーの重要な仕事。そこで今回はファミリー婚の可能性や、現在の課題について取材しました。

また、私たちウエディング業界はどんなことができるのか、それによっておふたりとお子さんはどのような未来を描けるのかについても考えたいと思います。

本文では割愛しましたが、ERISAEKIWeddingの佐伯エリ氏によると、現在のファミリー婚は以下の五つに大別できます。

- ①妊娠により入籍が決まり、出産後のファミリー婚の打ち合わせを妊娠中から進めている
- ②コロナ禍でウエディングを延期した期間に妊娠し、妊娠中から出産後のウエディングの準備を進めている
- ③妊娠中に産後1年内のファミリー婚を決め、出産後に準備を始めた
- ④出産でウエディングのタイミングを逃したが、3歳までには行ないたい
- ⑤再婚で連れ子がいる

このうち、現在増加しているのは②の

ケースです。①または③④に該当する方がコロナで延期した例もあるでしょう。相対的に⑤のケースの比率は減少しています。

広尾レディース院長の宗田 聡氏のお話では、産後の女性のコンディション・乳児の成長に照らし合わせると、ウエディングは出産半年後以降が望ましいといえます。妊娠・出産期間を考えると、今後も3歳位までの乳幼児を交えたウエディングがそれなりの比率を占めるでしょう。すると、おめでた婚がそうだったように、出産後に乳幼児を交えて行なうファミリー婚も一般的なものになる可能性が考えられます。

ファミリー婚の課題は 乳幼児対応だけではない

次に、課題について考えましょう。広告ビジュアル戦略では昔から言われているように、幼い子どもは人の目を惹くもの。またウエディングプランナーにとっても新郎新婦の子どもの存在は「特筆すべきこと」「オリジナリティ」であるため、つい焦点を合わせたくなくなってしまいます。

しかし、(株)テイクアンドグヴ・ニーズの有賀美氏が指摘するように、ファミリー婚を選んだすべてのカップルが「家族で頑張っていきます」という決意表明の場になりたいと思っているわけではないでしょう。

「両親への感謝を伝えることに重きを置きたい人も、もちろんいます。そうした場合は、新郎新婦と親御さんとの関係性にスポットが当たる時間をしっかりと取る必要があります」(有賀氏)

佐伯氏も「今おふたりが何を大事にし

て、この日を未来にどう残すことがおふたりにとっての正解かを把握すること」が重要で、「おふたりの結婚式」なのか、「ファミリーのお披露目」なのか、どちらに重点を置くのか必ず確認しておくべきだと言います。そして打ち合わせを経て、その希望が変化する可能性も考えておく必要があるでしょう。

もう一つ、大きな課題としてすぐに挙げられるのは、会場の乳幼児対応の設備・体制です。実際の設備としては、「あてま高原リゾート ベルナティオ」の事例が大いに参考になります。ベルナティオでは子どもの年齢に合わせた、椅子やホテルメイドの料理を提供し、授乳室やおむつバケツを備える部屋が近いバンケットを薦めることもあるとのこと。

さらに営業統括本部本部長・五十嵐直樹氏の発案で、無料で利用できるオムツ、木製の子ども用スプーンや歯ブラシ、紙製のスタイ、ベビーソープなどを用意したスペースもあります。

「お客さまには『たくさん準備しなくてもホテルにあるから』と気軽に予約してもらえます。そこは強みになって成約率も上昇しています」(五十嵐氏)

つまり、課題をクリアできれば集客のフックになるともいえるのです。

視点を新郎新婦に転じると、乳幼児を抱えての会場探し・下見・打ち合わせの難しさもあります。今回はファミリー婚を経験した森本啓太さん・遥さん夫妻にもお話を聞きました。おふたりは打ち合わせをできるだけオンラインで行なって負担軽減したそうです。つまり、当日だけでなく打ち合わせ段階でも、通常のカップルとは勝手が違うことは考慮しておかなければならない課題といえます。

ベルナティオの庭野真由美氏による

と、同ホテルでは遊具も用意しているキッズルームで打ち合わせする、映像や装花の打ち合わせ時はプランナーが子どもを預かるなど、柔軟に対応しているそうです。

親としての新郎新婦のケアも重要

課題とその対応として、乳幼児やその両親でもある新郎新婦に対するケアについてもまとめておきましょう。

まず、会場に乳幼児がいる場合には、絶対に目を離してはならないと考えてください。宗田氏や、コンビ(株)の亀井百恵氏も指摘していることですが、子どもに関しては常に予想外のことが起き得るためです。

亀井氏や佐伯氏は、月齢・年齢ごとの子どもやその家族についての知識を一通り身に付けることが必要だと強調しています。進行についても、授乳や昼寝など子どもの生活時間に基づいた進行を組むことで親も安心でき、スムーズに進む確率が上がるのです。

実際に新郎新婦の最大の不安点は、子どものご機嫌だったと森本夫妻も話します。

「会場側から『お子さんがもしこんな場合、こうしましょう』といった提案や案内があると安心できると思います」(啓太さん)

佐伯氏も子どもが絡むものについては、臨機応変にタイミングを変えることを会場と新郎新婦の共通認識にしておくべきだと話しました。

乳幼児の親にとっては、育児の負担や不安が大きい時期であることにも留意が必要です。宗田氏は打ち合わせの際に新郎新婦の表情に異変を感じたら負担が大きいサインだとして、当日の進行は凝り過ぎないことも提案すべきだと話します。

「危険サインが見えたら、プランナーはまず、『心から笑える大切な思い出の



特集でインタビューした森本啓太さん・遥さん夫妻の挙式でのシーン。参加者がほほ笑む演出を考えるのではなく、子どもの月齢や性格を考えた上で、挙式において新郎新婦が何を大事にしているのかをウエディングプランナーは確認する必要がある

1日にする方がいいんじゃないですか？だから心を元気にしていきましょう』と話してみるのはどうでしょう」(宗田氏)

ウエディングプランナーはかすがい

最後に、ウエディング業界ができることについて考えてみたいと思います。有賀氏は次のように話します。

「新婦に話を聞くと、『本当に自分は彼から愛されて結婚をするのだろうか。妊娠したから結婚するだけなのじゃないか』といった不安を口にする方もいらっしゃいます。(中略) パパ・ママといった立ち位置の前に、一人の男性、女性としてお互いを見つめ、尊重し、相手を幸せにすると誓い合ってもらおう。そうした場を設けられるのが結婚式であり、その場を作るのがプランナーとしての役目だと思います」

そして、ファミリー婚を行なった当事者としては、演出を未来に残すものとして考える重要性を実感したそうです。

また、森本啓太さん・遥さんも次のように話しました。

「家族として新たな門出を迎えた僕たちが皆さんから祝福されて、3人の絆が一

層深まったなと感じました」(啓太さん)「やはり結婚式のような特別な場でなければ、なかなか伝えられない思いや言葉もありますから」(遥さん)

佐伯氏は、ファミリー婚においては今一度結婚式の意味をおふたりに考えていただくようにすると、おふたりが再び絆をしっかりと結び合わせられると言います。なぜなら3歳頃までの育児期間は、夫婦としても試練の時期だからです。夫婦がお互いの真の姿が見えてきたタイミングだからこそ、結婚式という機会がお互いの考え方を擦り合わせて未来へ進むことに大きな役割を果たすのです。

つまり、ファミリー婚とは、父・母・子どもという家族の単なるお披露目ではありません。ファミリーという形になった後の夫婦の絆をあらためて結び直すものです。その点では、すべての結婚式とまったく同じものと言えるでしょう。

さて、冒頭に「子がかすがい」ということわざを取り上げました。でもファミリー婚の現場では、その役目をご夫婦のお子さまに託すのではなく、業界で働く私たちがかすがいとなってプロの役目を果たしたいものです。